

5. 活動報告

5. 1. 会議録

(1) 第1回 宮城県沖地震における重点的調査観測運営委員会 議事録

日 時 平成19年10月10日(水) 14時00分～16時00分

場 所 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター第一会議室

出席者(委員)

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	教授	長谷川 昭
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	准教授	日野 亮太
東北大学大学院理学研究科環境地理学講座	教授	今泉 俊文
産業技術総合研究所活断層研究センター	研究チーム長	岡村 行信
東京大学地震研究所地震火山災害部門	研究員	木村 武志(瀧瀬代理)
東北大学大学院理学研究科固体地球物理学講座	教授	佐藤 春夫
東京大学地震研究所地震予知研究推進センター	教授	平田 直
防災科学技術研究所	研究参事	堀内 茂木
海洋研究開発機構 地震・津波ネットワークセンター	研究員	有吉 慶介(金田代理)
仙台管区气象台 技術部	地震情報官	内藤 宏人
東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター	教授	今村 文彦
東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター	教授	源栄 正人
東北大学大学院理学研究科 環境動態講座	教授	箕浦 幸治
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	准教授	三浦 哲
東北大学大学院理学研究科環境地理学講座	助教	石山 達也
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	助教	伊藤 喜宏

(オブザーバー)

文部科学省研究開発局地震・防災研究課	本部係長	石関 隆幸
--------------------	------	-------

議事概要

1. 挨拶

長谷川主査(東北大理)より、開会の挨拶があり、佐藤委員長(東北大理)の司会により、議事を開始した。

2. 宮城県沖地震アスペリティ周辺におけるプレート間すべりのモニタリングの実現

(東北大理：日野) 資料 19-1-2

18年度に引き続き、海底地震観測データの解析・相似地震解析・GPS解析に基づいて、2005年8月16日に発生したM7.2の地震前後でのプレート間固着・すべり状態の時空間変化の推定を行った。

今年度計画でも、引き続き長期・短期OBSの観測を11ヶ所で行っている。

3. 仙台・石巻平野における地質調査に基づく過去の活動履歴の把握

(産総研：岡村) 資料 19-1-3

すでにH19年度分の仙台・石巻平野における地質調査は終了し、これまで行った津波堆積物の調査結果に基づいて、貞観地震の津波シミュレーションを始めた。

4. 過去の活動履歴を把握するための地質学的調査（沿岸域における地質調査）

(東北大理：今泉) 資料 19-1-4

H19年度はH18年度の追加調査に引き続き、陸前高田市周辺でジオスライサー調査を行う。また、常磐海岸沿いでは、H20年度以降の調査に先立ち、予測調査を行う。

5. 仙台圏における高精度強震動評価の実現 (東大地震研：木村) 資料 19-1-5

H19年度は過去の宮城県沖地震の断層破壊過程のモデル構築、宮城県中北部域の地下構造モデルの構築を行う。

7. 閉会の挨拶

作成者：事務局 飯渕 みか

(2) 第2回 宮城県沖地震における重点的調査観測運営委員会 議事録

日 時 平成20年3月13日(木) 13時00分～16時00分

場 所 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター第一会議室

出席者(委員)

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	教授	長谷川 昭
東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター	教授	金沢 敏彦
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	准教授	日野 亮太
東北大学大学院理学研究科環境地理学講座	教授	今泉 俊文
産業技術総合研究所活断層研究センター	研究チーム長	岡村 行信
東京大学地震研究所地震火山災害部門	研究員	木村 武志(瀨瀬代理)
東北大学大学院理学研究科固体地球物理学講座	教授	佐藤 春夫
東京大学地震研究所地震予知研究推進センター	教授	平田 直
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	教授	海野 徳仁
防災科学技術研究所	研究参事	堀内 茂木
海洋研究開発機構 地震・津波ネットワークセンター	研究員	有吉 慶介(金田代理)
仙台管区气象台 技術部	地震情報官	内藤 宏人
東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター	教授	源栄 正人
千葉大学大学院理学研究科地球生命圏科学専攻地球科学コース	教授	宮内 崇裕
大阪市立大学大学院理学研究科都市地盤構造学講座	准教授	原口 強
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	准教授	松澤 暢
東北大学大学院理学研究科環境地理学講座	助教	石山 達也
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	研究員	飯沼 卓史

(オブザーバー)

文部科学省研究開発局地震・防災研究課	本部係長	石関 隆幸
--------------------	------	-------

議事概要

1. 挨拶

長谷川主査(東北大理)より、開会の挨拶があり、佐藤委員長(東北大理)の司会により、議事を開始した。

2. 宮城県沖地震アスペリティ周辺におけるプレート間すべりのモニタリングの実現

(東北大理：飯沼) 資料19-2-1

飯沼研究員から、19年度の海底地震観測について、長期海底地震計設置を行ったとの報告があった。

3. 宮城県沖地震アスペリティ周辺におけるプレート間すべりのモニタリングの実現

(東北大理：飯沼) 資料 19-2-2

引き続き、飯沼研究員から、海底地震観測+相似地震・GPS観測データ解析に基づく19年度の成果について報告があった。

4. 仙台・石巻平野における地質調査に基づく過去の活動履歴の把握

(産総研：岡村) 資料 19-2-3

岡村委員から仙台・石巻平野におけるH19年度の津波堆積物調査と津波シミュレーションに関する成果について報告があった。

5. 過去の活動履歴を把握するための地質学的調査（沿岸域における地質調査）

(東北大理：今泉) 資料 19-2-4

今泉委員から、H18年度までの研究結果と、H19年度の津波堆積物学調査による成果について報告があった。

6. 仙台圏における高精度強震動評価の実現 (東大地震研：木村) 資料 19-2-5

木村研究員から、宮城県沖地震による強震動予測に関する研究開発のH19年度の成果について報告があった。

7. その他

長谷川主査（東北大理）より、今年度で課題代表を辞し、来年度からの課題代表を松澤暢氏（東北大理）にお願いするとの報告があった。

日野委員より、H21年度の研究計画は、最終年度になるため、早めに研究計画を決定し、H20年度の第一回運営委員会（9月予定）までに、研究計画をまとめたとの発言があった。

8. 閉会の挨拶

作成者：事務局 飯沼 みか